

2020年11月13日

熊本県知事 蒲島 郁夫様

清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会

共同代表 岐部 明廣

緒方俊一郎

美しい球磨川を守る市民の会 代表 出水 晃

子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会

代表 中島 康

代表連絡先 〒860-0073 熊本市西区島崎 4-5-13

TEL:090-2505-3880 中島 康

川辺川ダム容認方針に対する抗議文

報道によりますと、貴職は川辺川ダムの建設を容認する方針を固めたということですが。私たちは、貴職のこの川辺川ダム容認方針に強く抗議します。

今回の豪雨被災者を始めとする流域住民の総意は、川辺川ダム建設を求めています。貴職も流域住民からの意見聴取を行いました。被災者を始めとする住民からはダムに対して、強い拒否反応がありました。このように住民の望まないものを押し付けることは、再び流域に対立と混乱をもたらすだけです。

また、市房ダムのせいで球磨川の環境は年々悪化してきました。川辺川ダムを建設すると、球磨川は完全に「死の川」となり、流域の市町村も同様に衰退は必定です。球磨川・川辺川の清流無くして、流域の復興はあり得ません。ダム建設は、復興はおろか復旧にも多大な悪影響を及ぼし、その災禍は永くこの地を苦しめます。その責任は誰も負うことはできません。愚かな決断の方向転換を直ちに止めるべきです。

そもそも川辺川ダムがあったとしても今回の水害は防ぐことは出来ません。人吉市や球磨村の降雨の開始時期とそれより上流域の川辺川ダム予定地や市房ダム地点でのそれは殆ど同じか、上流域が少々遅れている状況です。川辺川ダムが「効果」を発揮する前に、既に人吉市や球磨村は支流の氾濫で浸水しています。ダムを議論する以前に支流の氾濫を抑えるための対策を優先すべきです。

貴職は2008年9月の川辺川ダム中止表明時に、球磨川・川辺川は守るべき宝と述べましたが、その宝を壊してまで、何をしようとしているのでしょうか。流水型ダム（穴あきダム）でも、流域住民の命と清流を守ることはできません。今回の貴職のダム容認方針は「政治判断」と言われていますが、そもそも政治とは住民のためにあるものです。貴職の「政治」とは住民ではなく、別の方向を向いています。誰のための「政治」をしているのですか。この決断は荒瀬ダム撤去方針撤回表明と共に県政の汚点として永久に歴史に刻まれることになるでしょう。貴職に対しあらためて抗議するとともに、私たちはあらゆる手段を講じ、未来永劫、このダム建設を阻止することをここに宣言します。

以上